

教育目標

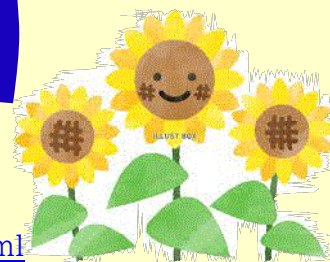
夢を一緒にかなえよう

～気付き・考え・高め合う～

ひまわり

住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX:0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)

心新たに ～元気にあいさつ～

校長 田中 雄志

新年が明けて、早くも1か月が経ちました。今年の干支は、トラです。「虎」が入った古い格言に「虎(とら)は千里(せんり)往(い)って千里(せんり)還(かえ)る」というのがあります。とてつもない長い距離を行って帰ってくるくらい勢いがすごいという意味です。トラ年のこの1年、トラのように勢いよく、元気よく目標に向かってがんばってほしいと思います。私たち職員一同も心一つにして全力で子どもたちに向き合っています。本年も保護者や地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度の本校の一事徹底事項は「元気にあいさつ」です。地域の方々から、「西原台小の子どもたちはあいさつがよくできま



すね」とお褒めの言葉をいただくこともあるのですが、学校職員、子どもたちのそれぞれの自己評価では、「あいさつ」に関する項目は、他の項目に比べて低い結果になっています。それも1学期より2学期の評価の方が低くなっているという結果です。

そもそもなぜあいさつをするのでしょうか。「私はあなたの敵ではありませんので、安心してください」ということでもあるし、「あいさつは、コミュニケーションの入り口である」という考え方もあると思います。

あいさつは、相手がいるのが分かったから「声をかけよう」と思ってするものです。そうすることで、相手に対して「心を開く」ことになり、相手の存在を認めているということになります。ひいては、「あなたのことを大切に思っていますよ」と相手を尊重することにつながっていくことになると思います。

コミュニケーションが不得手だという人であっても、あいさつは、相手の目を見て

元気よくできるようになってほしいと思います。心新たに取り組んでいきましょう。また、コミュニケーション能力の育成という点では、親子の対話がとても大切です。子どもが自分の親と話すとき、脳が活性化するそうです。特に、親と目を合わせながら話をすると非常に活性化するそうです。子どもと対話することで日頃の様子や心理状態を知るだけでなく、意志疎通を図ったり、生き方を伝えたり、愛情や信頼関係を構築して心の安定を図ることができます。さらに、コミュニケーション能力の育成や脳の活性化も望めます。ぜひ、家庭での親子の対話を増やしてほしいと思います。

全国的に新型コロナの感染拡大が止まりません。鹿屋市でも感染者が急増しており、予断を許さない状況が続いています。学校でも感染防止対策を継続・強化していきませんが、各家庭でも、マスク（一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果があるそうです）の着用やこまめな手洗い・消毒、換気、タオルやコップは自分用を使う、3密の場所ではできるだけ避ける、などの感染予防対策の徹底をお願いいたします。また、感染者や濃厚接触者への誹謗中傷等が無いよう人権への配慮もお願いいたします。